

## 八幡神社鳥居



指定区分	国指定重要文化財(建造物)
読みかた	はちまんじんじゃとりい
所在地	岡山市北区下足守
指定年月日	昭和31年6月28日
解説	康安元年(1361)の造立。花崗岩製、高さ4.3m。柱の前後に控柱を設け、本柱と控柱の間に垣をつけた両部鳥居形式である。南北朝期の石鳥居としてほぼ造立時の姿が残り、全国的にも貴重な遺存例である。石工妙阿は、近隣の鼓神社宝塔(重要文化財)の作者でもある。八幡神社は旧足守藩の総鎮守で、昭和53年に葦守八幡宮と改称し現在に至っている。
アクセス方法	JR足守駅から4km
公開状況	
設備	
備考	